

GKGコンテスト 優秀12現場を表彰

群馬県建設業協会（青柳剛会長）の会員企業の女性社員で組織する「環境すみずみパ



トルール隊」（愛称GKGⅡぐんケンガル）は、女性目線で評価した快適職場を表彰する「環境すみずみ（GKG）コンテスト」を行い、2021年度優秀工事現場として12件を選定した。17日の施工技術発表会に合わせて表彰式を開き、受賞者代表に表彰状を授与した。写真。

表彰現場は次のとおり。
▽補助公共道路改築事業（地方道・連携）分割17号（舗装工）Ⅱ勝野建設▽昭和村役場新庁舎建設工事Ⅱ沼田土建・石坂建設ⅡⅡ北部環状線街路事業道路築造工事（2工区）Ⅱ塚越土建▽補助公共道路改築（広域新潟長野）河川災害復旧令和元年災第737号その2Ⅱ渡辺建設▽単独公共単独道路改築事業Ⅱ西毛建設▽第五小学校屋内運動場大規模改修工事Ⅱ小曾根建設。

群馬建協、技士会が施工技術発表会

最優秀に松浦さん（建設工業）

群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県土木施工管理技士会（塩原聡会長）は17日、前橋市の群馬建設会館で2021年度施工技術発表会を開いた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来場者を少人数に絞り、協会12支部と官公庁の聴講申込者をウェブカメラでつないだ。約280人が参加した。第13回となる今回は、土木12件、建築3件の計15件の事例発表があり、関東建設工業の松浦秀幸さんが最優秀賞に輝いた。写真。



開会に当たり、池原純副会長は「来月1日から始まる『技術者の学び直しのリカレント研修』や全工程を学べる最新の『ICT活用技術の研究』をより積極的に進めることによって、技術者の皆さんのやりがいを支える活動を展開していきたい」とする青柳

会長のメッセージを代読した。

塩原会長は「発表会で会員企業の技術者が持つ優れた施工能力やノウハウ、創意工夫などさまざまな事例を学ぶことは、良質な社会資本整備に貢献する」と述べた。

最優秀に選ばれた関東建設工業の現場は、太田市外三町広域清掃組合が発注した「太田市外三町広域一般廃棄物処理施設建設工事」。DBO（設計・建設・運営）方式によりエネルギー回収型廃棄物処理施設を整備した。耐力壁部分を温度解析し、熱びび割れが起きやすい箇所を予測するとともに、耐力壁外周部を防水施工し、ひび割れ防止と防水による二重の漏水対策を施した。

表彰後、関東地方整備局渡良瀬河川事務所の穴原一幸副所長は「発表された技術情報の使い方はさまざまだと思うが、これが技術者を助け、現場を助けることにつながる」と話した。

優秀賞と優良賞の受賞企業と工事名は次のとおり。カッコ内は発表者（敬称略）。

＜優秀賞＞
▽萩原工業（宮澤皓介）Ⅱ秋間川右岸護岸付替工事▽塚本建設（吉澤樹）Ⅱ元総社幼稚園改築工事。

＜優良賞＞
▽原工業（井貝誠）Ⅱ足利管内河道整備工事▽田中建設（川端博昌）Ⅱ伊勢崎市第4期最終処分場土木施設建設工事▽南波建設（小黒春樹）Ⅱ上信自動車道（仮称）泉沢川橋P2橋脚工事▽ヤマト（藤嶋拓朗）Ⅱ敷島浄水場配水塔築造工事（施更第1号）▽上毛緑産工業（塩野岳憲）Ⅱ林道岩尾山線（山田工区）応急施設工事。